令和4年度 大野市水循環基本計画に位置づけられた 施策の実施状況

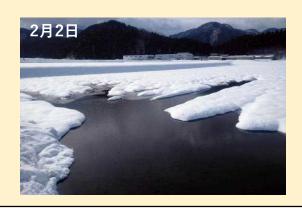
貯留・涵養機能の維持・向上

12 水田湛水の継続実施及び面積拡充等の検討

R4年度 水田湛水実施状況 (40ha・R4.10.1~R5.2.28 5か月間)







継続

R5年度水田湛水実施予定

(40ha・R5.10.1~R6.2.29 5か月間)



・調査・検討

湛水効果の向上を目的として、これまでに実施した地下水流動に関する調査結果を踏まえ、実施場所について検討を行う。

調査・検討事項:水量・関係者との調整・透水係数など

水田湛水【実施可能性検討エリア】位置図



水資源の適正かつ有効利用の促進

24 雨水の有効利用と貯留浸透の推進

R4年度 雨水貯留タンクの設置 (7件)

- ・様々な機能性、デザイン、サイズのタンクを公民館に設置
- ・普及に向けての実証試験及び地域住民への広報を実施















下庄公民館

小山公民館

上庄公民館

乾側公民館

富田公民館

上庄小学校

阪谷公民館

R4年度【啓発活動】雨水の活用に関する出前授業の実施



雨水活用に関する授業(イトヨの里)



上庄小学校での水の授業

R5年度 雨水タンク手作り教室の開催

親子向けに「雨水貯留タンク手作り教室」を開催して、 雨水利用の普及啓発を図る。



3

出典:雨水市民の会HP

水資源の適正かつ有効利用の促進

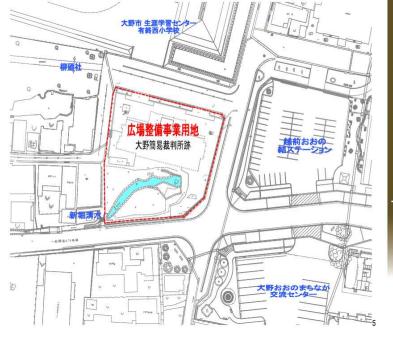
34 水のみえる施設の適切な維持管理と水を感じることができる環境づくり

湧水地を活用した新たな水辺空間の整備

- ・大野簡易裁判所が当該箇所から移転したことに伴い、旧跡地の利用計画として、観光などによる来訪者の休憩施設とするための広場を整備
- ・新堀清水を含めて湧水地は残し、親水箇所を設けて湧水と触れ合う機会を創出
- ・完成は令和5年5月下旬







位置図

人手門広場 Ote mon Square



名称の由来資料

健全な水循環を通じた地域活性化の推進

42 水のがっこうを拠点とした地域活性化の推進

ワクワクまちなか遠足事業

- ・市外から遠足や校外学習で大野市を訪れた児童・生徒に対し「水の授業」を実施
- ・水循環の重要性や大野市の地下水保全の歴史について学ぶ機会を創出
- ・まちなか散策マップと市内の商品引換券(150円分)を配布し、まちなかの賑わいを創出







						×の授業実	施状況						
R4年度 アクワクまちなか遠足事業 実施状況					水の授業実施・回数								
夫 稹 								水のが	っこう	まちなか交	流センター	イトヨ	目の里
	学校数	学校数 児童 引率者 計		学校数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
合計	52校	52校 3,332人 260人 3,592人		48校	55回	3,244人	30回	840人	24回	2,384人	10	20人 5	

2. 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承

健全な水循環に関する教育、人材育成及び研究の推進

1

水環境に関する教育や啓発活動の継続的な実施

(令和4年度 全11回・202名【No.4除く】)

〇スイスイ課外授業・・・・・・対象:一般 ※令和4年版水循環白書掲載取り組み

No	開催日	講座タイトル	講師	参加者数
1	7/8(金) ·10(日)	これだけは知っておきたい!水害対策	市防災・防犯課職員	10名
2	9/9(金) ・11(日)	大野の地下水の今 〜地下水年度報告書を読み解く〜	市環境・水循環課職員	11名
3	11/13(日)	水循環と持続可能な水利用 〜近年の気候変化に伴う地下水環境変化の可能性について〜	総合地球環境学研究所 藪崎 志穂 氏	38名
4	3/21(火)	健全な水循環の実現 〜温暖化が地下水に及ぼす影響と地下水保全に必要なこと〜	大野市水循環アドバイザー 中野孝教氏	_



9/11 水のがっこう

〇スイスイサイエンス講座・・・ 対象:中学生

No	開催日	講座タイトル	講師	参加者数
5	7/27(水)	水の生き物たち~水生昆虫調査 その1~ (清滝川)	香川大学 山田佳裕教授	12名
6	10/30(日)	大野の水と雨と雪の関係 ~水質調査~(まちなか湧水地)	大野市水循環アドバイザー 中野孝教氏	4名



7/27 清滝川

〇スイスイ課外授業ジュニア・・ 対象:小学生

No	開催日	講座タイトル	講師	参加者数
7	12/18 (日)	水のボードゲーム大会(水のがっこう)	市環境・水循環課職員	22名



12/18 水のがっこう

○自然ふれあい探検隊・・・・・対象:小学生

No	開催日	講座タイトル	講師	参加者数	
8	6/19(日)	真名川の生き物と水質(真名川水辺の楽校)	まんまるサイト	37名	X 100
9	8/1(月) 水の日	水生生物調査と川遊び(麻那姫湖青少年旅行村)	九統管委託業者	17名	ZA STATE STA
10	9/18(日)	木瓜川の生き物と水質調査(木瓜川)	まん丸サイト	31名] *
11	10/8 (土)	植樹体験会(南六呂師)	奥越農林総合事務所 他	20名	



6/19 真名川水辺の楽校 **6**

健全な水循環に関する教育、人材育成及び研究の推進

教育現場における水に関する講座の実施

国連子供環境ポスターによる学びの実践

総合地球環境学研究所(京都市)に保管されている、世界中の中学生が水環境をテーマに描いたポスターを活用して、市内小学校で ワークショップを実施。ワークショップの成果とポスターの展示を通して、市民の水環境保全の普及啓発を図る











授業の流れ

Step 1

オリエンテーション

1限目





市から「国連子供 環境ポスター」の 紹介と一連の工程 の説明する。

Step 2



絵を1枚選ぶ



世界の同年代の子ど もたちが描いたポス ターから、気になる 1枚を選ぶ。

Step 3



絵と対話する



作者が何を伝えようと して描いたのか、そこ で何が起こっているか など絵からメッセージ を引き出す。

2限目

Step 4



みんなの読み解きを 共有する



グループ内でお互いの 読み解きを発表し、考 えの違いや新たな視点 をミックスさせる。

Step 5



伝えるメッセージを 話し合う



グループ内で自分た ちの一番伝えたい メッセージをワーク シートにまとめる。

Step 6



展示会を開く



絵とグループでま とめたワークシー トを並べて展示す る。

2. 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承

健全な水循環に関する教育、人材育成及び研究の推進

11

水循環の重要性についての理解と関心を深め認知度を向上させるための行事等の開催

〇水の日(8/1)関連

全国一斉ブルーライトアップへの参加



(県内で3施設)

计 令和4年8月1日(月)

場 所 越前大野駅中央広場(大野市弥生町3)

時 間 日 没~23:00

〇広報8月号・市公式LINE

水循環特集記事の掲載





水に親しむイベントの開催 (県内で4行事)

越前大野感性はがき回顧展 テーマ:水 (水のがっこう) R4.8.1~8.31



市公式LINE「水の日」の広報



麻那姫湖青少年旅行村 (大野市中島) R4.8.1



御清水ライトアップ (大野市明倫町) R4.7.1~8.31



健全な水循環に関する教育、人材育成及び研究の推進

19

イトヨの里館内の展示物のリニューアルやイトヨ生息地の保全

平成13年の開館以来初

「本願清水イトヨの里」館内のリニューアルを実施

- ●展示パネルの全部更新
 - ・イトヨの生態や繁殖行動、最新の研究に関する情報を充実
 - ・健全な水循環の取組に関する情報を充実
- ●触って学べるイトヨの模型の設置
 - ・全長約70cm・オス・メス各1体
- ●デジタルコンテンツの更新(PC6台)
 - ・ゲームやクイズでイトヨ、水循環について学習
- ●館内照明LED化
 - ・省エネ化







2. 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承

新たな水文化の創造に向けて

26

市民の意識アンケートの実施

「令和4年度 水に関するアンケート調査」の概要

1. 調査対象 満18歳以上の市民 1,000人 有効回収数438人 回収率43.8%

2. 調査時期 令和 4 年 9 月 9 日~令和 4 年 10 月 11 日

3. 調査方法 郵便送付(回答は、郵便およびweb)

4. 調査目的 水に関する市民の意識を調査し、今後の施 策の参考とする。

5. 調査項目 (1) 地下水の保全について(問1~6)

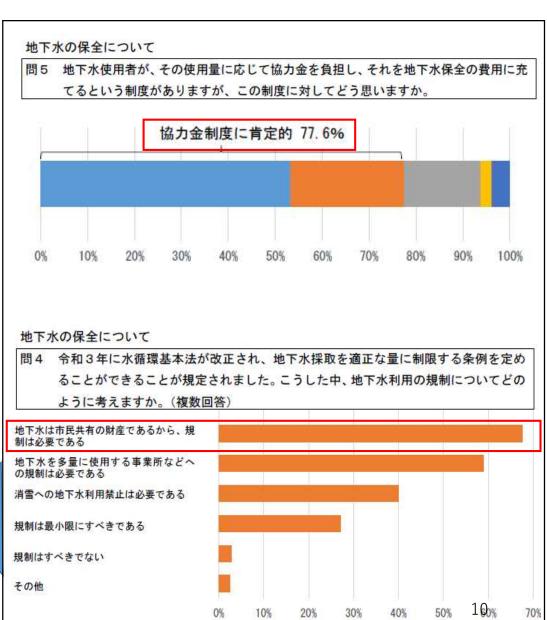
(2) 水の利用について(問7~10)

(3) 水環境について(問11・12)

(4) 自由記述(問13)

令和5年度以降

- ・協力金制度などの導入に関する検討
- ・新たな枠組みでの地下水に関する 規制の必要性等

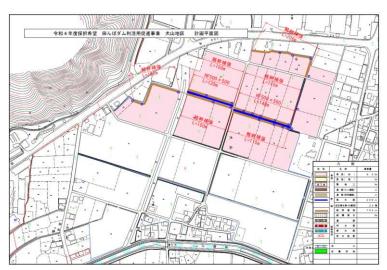


・アンケート調査結果は市ホームページで公開中

水災害に対する防災・減災対策

R4_田んぼダム(9.3ha)





7 流域治水の推進

R5_公園貯留(貯留量約2, 500m³)



水災害に対する防災・減災対策

香川大学

KAGAWA UNIVERSITY

12

気候変動が水環境に与える影響の情報収集・把握

「大野市と香川大学との連携協力に関する協定」の締結

背暑

○2015年から共同研究を継続的に実施しており、信頼関係が構築されている。

〇大野市水循環基本計画(R3.2策定)の推進には研究・教育機関との連携が不可欠。

大野市と香川大学の連携・協力に関する協定

〈連携・協定事項〉

- (1)水環境に関する調査研究
- (2)水に関する市民の教育啓発推進
- (3) その他両者の協議により定める事項

環境・水循環課 越前おおの水のがっこう」



協定締結者:大野市長 石山志保 香川大学長 筧善行

「大野市と香川大学との連携協力」に関する協定」締結式

連携協定により成果が期待される取り組み

- 1. 水循環に関わる人材の育成と水文化の継承
- (1) 水循環に関する教育や啓発活動の継続的な実施
- (2) 幼少期から水について考え学べる機会の創出
- (3) 本市をフィールドにした大学や国の研究機関が行う水に関する研究の促進
- (4) シンポジウム等の開催による情報発信
- (5) ニーズに合った市民向け講座の企画と運営
- (6) 水循環の重要性についての理解と関心を深め認知度を向上させるための行事等の開催
- 2. 災害や気候変動、地下水障害等への対応
- (1) 気候変動が水循環に与える影響の情報収集・把握



3. 災害や気候変動、地下水障害等への対応

地下水障害の防止と対策

29

井戸枯れ対応タイムラインの作成と運用

大野市地下水位低下対応計画

- ○地下水位の低下に応じて、行政機関などが講じる対策や市民や事業者、水利使用者が取るべき行動を示したもの。
- ○過去最低の地下水位を観測した令和3年を最悪のシナリオとして、注意報発令から井戸枯れ発生までの日数の予測を示したもの。

注意報 - 1	管観発令から	春日公園	期				行政機関□	C205	
	報発令から発生までの計数	が 観測井 地下水位		レベルー	市民・事業者	国(国土交通省) 県及び河川管理者		大野市↓	地下水関連情報
12 月 ★ 無降雪期 +	1 日 ※ ↓ 降雪期 † 注意報発令 ↓ 6.0m ↓	~6. 0m 未満↓	平常。	ブルー	「・一般家庭、事業所での節水 → ・一般家庭、事業所での節水 → ・ こまめに蛇口を閉める → ・ 雨水の利用 → ・ 節水機器等の活用 → ・ トイレの流し方への配慮 → 「・・ボンブ能力と周辺地下水位の把握・	密発・情報発信 - ・水資源保全等に関する普及啓発・・ダムに関する情報の発信 → 情報収集 - ・ダム貯水率、気象情報など → 適正なダム管理 ※真名川ダム → ・維持流量の放流 → ・	情報発信。 ・河川水位は 情報収集 ・気象情報は 適正な河川管理は ・適正な利水管理は ・河川環境の把握は	啓発・情報発信↓ ・地下水保全や節水に関する普及啓発↓ ・地下水に関する情報の発信↓ 「情報収集↓ ・河川やダムに関する情報、気象情報など↓ 地下水の利用状況の把握↓↓ ・揚水量の把握↓↓ ・地下水利用施設の水回りの点検↓	・ 大野市ホームページャ・地下水位・節水情報など・
主意報発令 7-0■ ← 12 日 ← ***********************************	25日 - / **報発令+ 7.0m - / 12日	6. 0m以上 7. 5m未溝	低 下↓ 20 日程 度↓	1 1 t	下水強化 ・一般家庭、事業所での節水強化 ・一般家庭、事業所での節水強化 ・ 情報収集 ・ 行政機関からの情報の確認 ・ 井戸枯れへの備え ・ 水の確保方法の想定 ・ 水の汲み置き容器の準備 ・	上記に加えて 4 節水強化 4 ・庁舎等での節水強化 4	上記に加えて + 節水強化 + ・庁舎等での節水強化 +	情報収集・市民への発信強化 ・地下水注意報・警報の発令・ ・ホームページ更新頻度変更・ 節水強化 ・庁舎等での節水強化・ ・大口需要者への節水依頼・ ・修景施設等の揚水停止措置・	● 気象庁ホームページュー・今後の天気・降水量情報など・
7.5m→ 6 日 → 8 井戸杭 可能	3.0m th発生の 性あり W thを the 	7. 5m以上	異常低下	レッド	節水の徹底 - ・最低限の水利用 - ・ 情報収集 - ・ 行政機関からの情報確認頻度を増 やす - ・ 井戸枯れへの対応 - ・ 生命維持のための最低限の水の確保 - ・ 共助による水の確保 - ・ ・ 井戸枯れ疎開の検討 - ・ ・ オーナーサーサール・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	上記に加えて↓ 連携強化↓・ ・情報共有・連携の強化↓ 節水の徹底↓ ・最低限の水利用↓ 適正なダム管理 ・ダム貯水位予測等の実施↓	上記に加えては 連携強化。 ・情報共有・連携の強化は 節水の徹底。 ・最低限の水利用は 井戸枯れへの対応。 ・広域的な水融通の検討は	#戸枯れ対策連絡室の設置 → ・井戸枯れ対策連絡室の設置 → ・井戸枯れ状況の把握(件数・エリア) → ・節水呼びかけ等の強化(広報車) → 連携強化 → ・流域の様々な主体との情報共有・連携の強化 → #戸枯れへの対応 → ・臨時給水所の設置による拠点給水の実施 → ・給水車等による給水の実施 → ・関係課による協議の実施 → ・広域的な水融通の検討・→	真名川ダム諸量一覧表 ゼ・貯水率など ゼ セ ・野水率など ゼ ・ ・国交省水文水質データベース ゼ・真名川の河川水位など ゼ ゼ ・